

章	4	にぎわいと魅力あふれるまち
大項目	01	魅力あふれるまちづくり
施策	01	魅力ある都市空間づくり

**目的**

新宿駅周辺を始め、主要な駅周辺の道路・交通機関等の整備によって、混雑の緩和を図るとともに、人々が集う個性的で魅力的な都市空間の形成を目指します。

**対象・手段**

関係機関との協議を行い、混雑現象の緩和を図るとともに、駅周辺の道路・交通施設の整備によって、魅力ある都市空間の形成や回遊性の確保を図ります。

歌舞伎町ルネッサンス推進協議会の提言を受け、クリーン作戦プロジェクト・地域活性化プロジェクト・喜兵衛プロジェクト・まちづくりプロジェクトにおいて、地元・事業者・行政等が一体となり歌舞伎町の活性化と再生に取り組んでいます。

**施策の方向**

主要な駅の周辺を中心に、快適な歩行空間、魅力ある買い物空間の整備を図り、魅力的な都市空間の形成とまちづくりを推進します。また、新宿駅東西自由通路や新宿駅周辺地区の整備については、関係機関と協議を続け、その実現に向けて努力していきます。

人々が集う個性的で魅力的な都市空間の形成に向け、歌舞伎町が大衆文化や娯楽の企画・生産・消費の拠点となり、誰もが安心して歩き、楽しむことができるまちへと再生します。

**基本計画(平成10～19年度)の目標達成状況**

指標名	A 基準値	B 目標値	C 達成値	D 達成状況
新宿駅周辺の一日常の乗降客数(千人)	(平成11年度) 2,783千人	(平成19年度) -	(平成19年度) 3,743千人	実績は960千人増加しています。

指標名の定義: JR線、他社線の各新宿駅、丸の内線(西新宿、新宿三丁目)、都営新宿線(新宿三丁目)都営大江戸線(都庁前、新宿西口)を含む

**成果指標**

指標名	定義	目標水準
新宿駅東西自由通路の都市計画決定	都市計画決定をして100%	(平成19年度) 100% の水準達成
放置自転車台数	歌舞伎町地区の放置自転車台数	(平成19年度) 1400台以下の水準達成
シネシティ広場の使用日数	シネシティ広場におけるイベント等実施日数	(平成19年度) 365日の水準達成

**施策の達成状況**

		単位	平成17年度	平成18年度	平成19年度	備考
施策成果指標	目標値1	%	100.00	100.00	100.00	東西自由通路については、関係者間において整備に関する基本合意を行いました。都市計画決定については引き続き検討していきます。
	実績1	%	50.00	60.00	80.00	
	目標達成率1 = /	%	50.00	60.00	80.00	
	目標値2	台	1,800.00	1,600.00	1,400.00	放置自転車台数(平成19年度目標値1400台以下)
	実績2	台	1,629.00	1,428.00	1,141.00	
	目標達成率2 = /	%	110.50	112.04	122.70	
	目標値3	日	365.00	365.00	365.00	イベント開催日数(平成18年度は広場の舞台設置工事が行われたため、2ヶ月間使用できませんでした。平成19年度はイベント会場の分散化が進み実績が減りました。)
	実績3	日	237.00	217.00	71.00	
	目標達成率3 = /	%	64.93	59.45	19.45	

## 主な取組み

新宿駅東西自由通路及び駅前広場の整備については、新宿駅周辺整備計画検討委員会を開催し、自由通路の整備に関する基本合意を行いました。20年度より設計作業に着手します。靖国通り地下通路の延伸については、事業方法、事業計画等について、東京都とともに検討を進めました。新宿通りのモール化については、交通量調査、物流実態のヒアリング、アンケート調査を行いました。

歌舞伎町対策については、放置自転車対策やクリーン作戦・地域活性化プロジェクトの継続実施や喜兵衛プロジェクトによる旧四谷第五小学校への吉本興業(株)の移転及び「ふらっと新宿」の開設の支援を行いました。

## 課題

新宿駅東口地区では、地下鉄副都心線が平成20年6月の開通となり、また甲州街道では地下歩道の工事が行われるなど、都市のインフラ整備が進行しています。新宿駅周辺の回遊性を向上させ、魅力ある都市空間にするためには、これらのインフラ整備に併せ、靖国通り地下通路延伸や新宿通りのモール化のため、引き続き関係機関と調整していく必要があります。また東西自由通路の事業化に伴い、通路につながる東西駅前広場の整備計画についても検討を行っていく必要があります。

歌舞伎町ルネッサンスの実現に向けた取組みが進められる中、課題として歌舞伎町のイメージアップのための情報発信のあり方、歌舞伎町タウン・マネジメント組織の運営基盤の確立があります。

## 評価

総合評価	
<p>施策の各事業とも、着実に進捗していることから、総合評価をBとします。</p> <p>サービスの負担と担い手 新宿駅周辺では、鉄道事業者をはじめとする関係事業者や地元とともに事業を進めています。歌舞伎町については歌舞伎町ルネッサンス推進協議会を柱に、地元、事業者、行政等が一体となって歌舞伎町の活性化と再生に取り組んでいます。</p> <p>適切な目標設定 新宿駅周辺地区の整備推進により、歩行者の回遊性の確保、交通混雑の解消、市街地の活性化を図り、また歌舞伎町の課題を各プロジェクトごとに取り組み、情報を発信するなどイメージアップしていくことで、新宿をより安全で快適な都市空間にすることができ、区民ニーズを踏まえた適切な目標と言えます。</p> <p>効果的・効率的な視点 新宿駅周辺については、関係事業者等と総合的な意見調整を行うことで効率的に事業を進めています。歌舞伎町については、課題について各プロジェクトごとに取り組みることにより効果を挙げています。</p> <p>目的の達成度 新宿駅周辺は東西自由通路について、関係者間において自由通路の整備に関する基本合意を行い、平成20年度からの事業化が実現しました。靖国通り地下通路の延伸については東京都と検討を進め、新宿通りのモール化については具体的な調査に着手しました。歌舞伎町では、歌舞伎町ルネッサンス推進協議会の下、環境浄化・美化に成果を挙げています。放置自転車については目標値を120%達成できました。地域活性化プロジェクトにより公共空間を活用したイベントも積極的に行われています。また、大衆文化・娯楽の企画・製作・発表の拠点づくりに向けた事業者誘致なども順調に進められています。</p>	B

## 今後の取組み・改革の方針

新宿駅周辺では都市基盤整備にあわせ、まちの再生に向けた機運が高まりつつあるなか、交通環境の整備とともに自由通路から駅前広場、そしてまちへの円滑なアクセス、さらにまちの更新などを視野に入れた一体的な計画の策定を行っていきます。歌舞伎町では、歌舞伎町ルネッサンスの実現に向けてイメージアップを推進していくための情報発信機能の充実が必要です。歌舞伎町の将来ビジョンを実現していくため、各プロジェクトの推進主体となる歌舞伎町タウン・マネジメント組織の運営基盤を確立していきます。

この施策は新宿区総合計画の「 - 3 - だれもが自由に安全に行動できる都市空間づくり」「 - 3 - まちの「広場の利用」の推進による新たな交流の場の創出」に引き継いで取り組んでいきます。

## 施策を構成する計画事業

	総合評価	頁	総合評価	頁
新宿駅周辺地区の交通環境整備推進	B	248		
歌舞伎町対策の推進(再掲)	B	180		